1965
6 月 号
No. 139
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

6月の人口と世帯
人口 75.89(−50)
男 3.760(−15)
女 3.829(−35)
世帯数1.233(−7)

参院選投票は7月4日

政治に目を向けよう
民主政治は選挙から

第七回参議院議員通常選挙が六月十日告示になり、七月四日に行なわれることになりました。

これは参議院議員のうち半数の議員の任期が満了となつたために行なわれるものです

福島県（地方区）選出議員定数は四人ですから、今度の選挙はその半数の二人を選出することになります。

参議院は、衆議院とともに国権の最高機関を構成している機関の一つであり、その政治は私達の生活に直結しています。私達の生活をより豊かに楽しいものにするためには政治を立派なものにしなければなりません。その立派な政治を実現するためには、選挙が公正で明朗に行なわれなければなりません。いいかえれば私達の暮しが豊かで楽しいものになるかならないかは、私達自身の考えにかかつているということができます。

このような選挙の大きな意義を理解し、お互いに〝クイ〟のない選挙をしたいものです。

○ この一票 暮しと政治にかける橋。
○ 一票の 自覚に実るよい政治。
○ あくまでも 自分の意志で明るい選挙。

（選挙管理委員会）



蕨の草村有林の造林をうけもつ森林組合の作業班。
苗木は大きなリュツクから大切にとりだされます。



39年に県教委より体育研究校に指定された鮫小では5月25日に郡内の先生方が参加して研究の中間公開が行なわれました。

不順な天候

今年は太陽の活動が静かなる年（太陽黒点極小期）にあるので、早くから異常気象が予想されていましたがその異常は次のように現れて来ています。

真冬は例年より一ケ月も遅れて到来し、只見町では四月下旬になつても例年の三倍（約三米）も積雪がありました鮫川で四月になつて雪がチラつくのは、近年で一番遅い日でも四月十八日でしたが、今年は二十九日と遅く、当日は阿隈山系一帯にうつすらと積り、福島市においても晩雪では新記録でした。

三月の降水量は鮫川で一四ミリ、例年よりも五八ミリも少く、県内浜通りでは一〇ミリ以下で極小の記録をつくりました。

四月の気温は、例年鮫川の平均気温、一〇度C、今年は六、三度で低く、四月低温は若松市では側候所開設以来の低温とのことです。この低温により、本村で昨年は四月十八日満開になつた桜も今年は五月九日頃と大変遅れました五月中旬になつて初めて平年並に気温は上り、五月九日は最高気温二十七・二度と六月下旬と同じ温度まで上りましたが五月下旬は平年より低く経過しました。

台風は例年ですと八月以降十八号あたりから本土に影響しますが、今年は極めて早く五月に台風六号が来襲しました。このような歓迎されない客の五月到来は近年にない事です。

以上のように春以来異常性の強い天候が現れていますので、これからもなんらかの形で、この傾向が続くおそれがありますから、今後の長期予報に注意し農作物の管理には十分注意して下さい。

（産業課）

標語募集

明るく正しい選挙推進に関するもので官側ハガキにより六月三十日（当日済印まで有効）福島市杉妻町二ノ十六県庁内、福島県選挙管理委員会「標語募集係」まで送付下さい。ハガキは一枚一題とし住所、氏名、職業、生年月日、性別を明記して下さい。入賞者に一等五千円以下、三等一千円まで八点、佳作の若干名に記念品が贈られます

くらしのメモ（六月）

六月は行事の多い月です。

一日は気象記念日、電波の日・写真の日です。またこの日は全国的にあゆの解禁日で各河川はつりてんぐたちでにぎわうことでしよう。

二日は横浜開港記念日。四日は歯の衛生週間の初まりでいわゆる〝むし歯デー〟ですこの日はぜひこどもさんの歯の検査を行なつてください。

七日は計量記念日です。計量法は昭和二十六年六月七日に公布されましたが、これを記念していろいろな行事が行なわれます。

十日は時の記念日、ついで十一日は入梅となります。

二十日は父の日（第三日曜日）ということです。おとうさんがたも〝父の日〟にあまりてれないで、すなおにこの好意を受けようではありませんか。

二十一日は夏至、いよいよ本格的な夏にはいります。

二十五日は救らいの日です

◎手をきれいに洗おう

夏を健康にすごすため、夏に多い伝染病にはとくに注意し食事や調理のときには、必ず家族全員で手洗いを励行しましよう。また村には個人の簡易水道が多くありますが、天気の良い日には水源や水槽を必ず消毒清掃を行ない汚水防止等をやりましよう。

梅雨どきの衛生に気をつけよう

教育委員の学校訪問

五月十一日より三日間にわたり村内の小中学校と西野区塚本部落の児童遊園地を訪問し、施設、設備の管理運営と児童生徒の学習を参観し、先生方との話し合いをもちました。

この訪問は正常な学習活動ができるように教育の諸条件（教職員、校舎や設備の営理社会教育関係団体の育成による学校との結びつき）の充実につとめ、村の文化向上をはかる条件を整えるために毎年行なわれるものです。話し合いのなかの諸問題は次のようなことでした。

。教職員住宅を確保したい。とくに家族転入者の住宅に困る。

。事務職員（または用務員）を配置したい。事務処理、電話、雑務で教職員の負担が多くなる。

。学区所有の教員住宅の修理修繕費の調達が困難なので村営にして欲しい。

。トラホーム、虫歯、かいせん（しらくも）が多いので巡回治療ができないか。

。防火、防災のため警備員の配置と防火用水を設置したい。

。学校の研究会と教員研修の機会をつくり必要経費を予算化したい。

・8ミリ映写機を設置し、学校と社会教育に活用するようにしたい。

。暖房用石炭は良質のものを使用するようにしたい。

。中堅教員の組織強化と充実につとめたい。

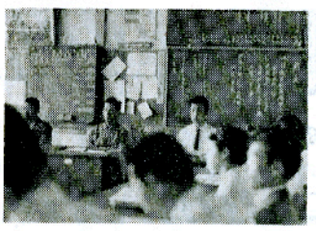
。男子教員が少ないので宿直に困難性がある。

この訪問で感じられたことは、いづれの学校も創意と工夫を生かした管理運営で、先生方も子供たちのために情熱をもって指導され、生き生きとした学習活動が展開されていたことと、塚本部落の児童遊園地が学校設備も顔まけの充実ぶりに地元関係者の熱意のほどがうかがわれたことで村内各方部にも設置を望みたいものです。

（教育委員会）



水野教育長の紹介であいさつする委員さん方



熱心な話し合いをつづける鮫小の先生方

6月の稲作

本年の六月天候予報によると、入梅が早く、低温も予想されているので、本田初期害虫も多発するものと思われますから、早期発見、早期防除に努めることがたいせつです。

ニカメイチユウ

本虫は年二回発生し、幼虫態で稲の刈株や稲わらの中で冬を越し、早春さなぎになつて五月上、中旬ごろから第一世代のガが出て、稲の葉に産卵をはじめ、卵は七～十日位いで幼虫になります。そして稲の茎に食い入り心枯茎にします。また、第二世代の虫はガ（成虫）が八～九月、主として八月中旬に出て稲の茎に食入し白穂にしたり、穂の出すくみ、また裏不足にする大害虫です。

防除の要点……本虫の防除は、発が最盛日を目標とし、その一週間以内に薬剤散布することが大切です。

使用薬剤としては、第一世代の場合は低毒性有機りん製剤二、〇〇〇倍液を一〇アール当り七〇～一一〇リットル粉剤は三キログラム、または水面施用BHC剤を一〇アール当り三キログラム散布し、第二世代には、低毒性有機りん性剤を一〇〇〇倍液とし、一〇アール当り一五〇リットル内外、水面施用BHC剤は三～四キログラムを散布して防ぎます。なお水田に使用し施用後は四～五日間灌排水しないようにしなければなりません。

クネヒメハモグリバエ イネドロオイムシ

本虫類は、寒地性の害虫でとくに本田初期に発生が多く低温、日照不足の年には大発生しています。

防除の要点……本虫類には田植前田にアルドリ乳剤三〇〇倍液散布が本田初期の予防効果が大きいが、本田に発生を認めた場合は、低毒性有機りん製剤一、五〇〇～二、〇〇〇倍液を一〇アール当り七〇～一〇〇リットル位を落水して散布します。

(と)(う)(け)(い)

就業構造の基本調査

国や県や市町村の各種の施策の基礎資料を作るため、あらゆる角度より統計調査が行なわれていますが、七月一日現在をもつて「就業構造基本調査」が実施されます

この調査は農業センサスや国勢調査のように全数を調査するのではなく、昭和三十五年に実施した国勢調査区から一定の方法により抽出し、調査区を設定するもので、本村では五－一区（滑石、上、中、西、浅屋敷、旗門場、藪、折戸、荻野沢）の一調査区が指定されました。

調査の目的は、わが国人口の就業、不就業の基本的構造を全国および地域別に明らかにし、各種施策の基礎的資料とすることとされ抽出した世帯およびその世帯に常住する十五才以上の者について調査されます。

統計調査は、統計法という法律により行なわれるもので統計の目的以外には絶対に使うことができないことになつており、もちろん課税等にも使うことが固く禁じられています。調査に該当された方々は、ありのままを記入され、精度の高い統計が出来上がるよう御協力をお願いいたします。

（庶務課）

ねんきん

◇日に〝いこい〟一本の節約で、国民年金のかけ金ができます。つまり二十才から三十四才までは月に百円のかけ金ですから、月にいこい四十本。三十五才からは月に百五十円ですから「いこい」六十本の値段とおなじです。これだけかけていくと四十年間かけて六万三千円ですが、支給される年金は毎年四万二千円です。

◇一つのかけ金で六つの年金

つまり六十才からの老齢年金。身体障害者になつたときの障害年金。未亡人になつて子供をかかえていれば母子年金。子供がない時は寡婦年金又は準母子年金。みなし子には遺児年金の六種類があるわけです。このほかに死亡一時金もあります。

（住民課）

ねんきんの歩み ㉓

わが村の農業構造改善事業は、土地基盤整備の前提に、「国有林野の活用」という問題があつたため、そのこと自体が既に大きな困難性をもつていました。

一本の農林事務次官通達をたよりにして、まだどこでもやつていないこの仕事を、農業基本法の背景があつたにせよ、ともかく「活用」の段階にこぎつけることができたのは、関係当局の理解と援助の厚かつたことを物語るもので深く謝意を表したいと思います。

県庁と前橋営林局、東北農政局、農林省と、幾度か往復を重ね担当職員の苦労も容易でないものがありました。

すすむ構造改善

村長 石田卯子八

幸にも昭和三十九年度に予定された事業は、ほぼ計画の線に添つて実施され、いろいろな困難はありましたが、各事業主体の熱心な努力で、次のような事業が完成されることになりました。

渡瀬牧野

渡瀬牧野組合が事業主体で鹿角平村営牧野に隣接して造成されました。

一九・八ヘクタールが開墾されて草地となり、約三五ヘクタールが放牧地となります。

草地は国から売渡しをうけ放牧地は貸付される予定です

ここは地味も豊かで、日当りもよく、模範的な牧野になることが期待されます。

大戸中牧野

事業主体は大戸中部落の牧野組合。

草地造成六・八ヘクタール放牧地約一〇ヘクタール。

草地が売渡され、放牧地が貸付される条件は前と同じ。

標高も低く、地力があり、道路も整備されているので、協同性の高い部落の特性を生かして、高度の集約経営が行われるものと思います。

東野牧野

村営で行う放牧形式の牧野で、東野牧野組合の既設牧野三五ヘクタールと、国から新しく貸付される三〇ヘクタールと合せ、六五ヘクタールの面積になります。

ここは機械開墾を行わず、蹄耕による簡易改良で、草の改良を図つていきます。

天然の地形を利用し、投下資本は少く、野草利用、林間放牧の育成牧場になるわけで村内のどこでもやれる方式をとりいれました。

青生野協業養蚕

今年は国有林の伐採がおくれ、集団桑園の造成は四ヘクタールでしたが、これから日本一の協業養蚕を目ざして、事業が進められる計画です。

文字通り画期的な計画と努力で行われるこれらの事業に今後共一層の激励をいただきたいと思います。

議会だより

研修視察報告記（その二）

『印象』

北九州地方を研修して第一印象を受けたのは観光地の規模の大きいこと、又道路及び各施設が整備されていることであります。

福島県にもスカイラインやエコーライン等があるが、観光施設とその雄大さはまさに観光地九州ならではの感じでした。

別府から高原列車で態本に向う車窓に映る景観は又格別で、二毛作のレンゲが花をさかりと咲き九州特有の段々畑には菜の花や青々とした麦の穂が並びその端々には熱帯植物が群生し、まさに南国の田園風景でした。

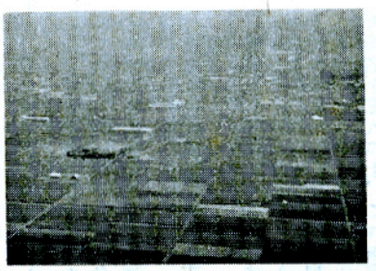
大分県から一歩熊本県に入ると耕地の区画整理が行き届いており、そこに二毛作や三毛作の作物が交錯する状況は一段と見事なもので、植物等も立派であり、無駄のない耕地の利用を図っているようです。

季節に恵まれている九州とはいゝ（当地方と一ヶ月ぐらい違う）毎年やってくる台風の影響は相当なものだそうですが耕地の高度利用により、台風による減収をカバーすべく常に努力しているようです

又阿蘇山ろくの広大な草原を見て、わが村にもこのような立地条件に恵まれた草原があれば、村の農家経済がもっと高度なものになるのではないかとつくづくうらやましく思いました。

観光と農・漁業に生きる島国九州を視察したわけですが政治の力といゝますか、住民自らの意欲といゝますか、工夫と創意と努力によれば発展の活路はどこからでも見え出せるものと、あらためて感じて参った次第であります。

議会議員　湯座　伝（つゞく）



写真は「区画整理された田園（熊本市郊外）」

国保だより

国民健康保険の医療費の村が負担する割合は世帯主七割、家族五割ですが、国では昭和三十九年度から昭和四十二年度までに全市町が家族の七割給付をするようにすすめております。

隣接町村でもそれぞれ家族七割給付をする準備を進めています。

本村でも現在の国保財政が容易でない状況でありますが住民福祉を高めるため他町村に遅れをとらないで本年度（昭和四十一年一月一日より）実施したい計画で準備しています。このことについてさる五月二十四日国民健康保険運営協議会が開かれ、家族七割給付の実施について検討されました。

給付が改善されると保険税も増額されますが、病気になった場合は本人が三割の負担ですむことになりますので、協議会では本年度中に給付改善を行うよう答申が出されました。

被保険者の皆さんこれに協力下さるようお願いします。

（住民課）

近代化される農業形態

（千葉県大原町を視察して）

去る五月十一日農業委員十五名参加のもとに千葉県夷隅郡大原町の農業構造改善地区の実施状況を視察してまえりました。大原町は昭和三十六年パイロット地区として国の指定を受け、目標は蔬菜（促成キウリ促成トマト）を主幹作目とし、耕地を大巾に整理して大型機械を入れ水稲の省力栽培により今までの労働力を三分の一に引き下げ、協業ハウス、経営者は水稲耕作の面まで協業を拡大して企業化を実現する。一般露地蔬菜は集団栽培によって共同出荷を行い、地区一戸当り農業所得を完成後には一〇〇～一五〇万以上の収入をあげうる自立経営農家を育成する構想です

大原町役場菰田産業課長の説明のあと次のような資疑応答をおこないました。

問　事業を進める上で最も障害となった問題点について

答1構造改善の目的が自立経営農家の育成と協業の助長にありますが二つとも大原町では成功していません。農民が農民に農地を売らない。兼業農家の対策をどうするかが問題です。2今のままで充分やっていけるのに多額（平均八七万円）の投資をして構造改善をやる必要がないと主張する農家の以外に多かったこと、土地整理後の交換分合等です。3事業が天候不順とくに長雨などで計画通り進まなかったことです。

問　協業のやり方と問題点について

答　十班の作業班を編成し作業班毎に共同作業を実施し収穫物は各人の耕作面積に応じて配分しました。

今後の問題点としては、育苗出荷の部門的協業は良いが管理面における農家の共同精神の欠如に起因する人災をどうするかです。又共同作業を進める過程において個々の能力差、努力差をどうして評価するかなどの問題点があります。

問　補助金及び融資は早期に交付、貸出されないが対策について

答　つなぎ資金に苦慮いたしますが町では計画が認定され予算に計上された範囲内で前渡し、農家の負担軽減に努力しています。

このあと役場のマイクロバスで現地視察をいたしましたが、客観的条件が良いとは言い一枚四反歩の水田、幅員六mの農道をトラクターがうなり、三反歩に区分された畑に一棟一五〇坪のビニルハウスが立並ぶ、近代化された新しい農業形態をまのあたりに見て非常に有意義な研修でありました。（農業委員会）

みごとな成長

共同飼育所の稚蚕

農業構造改善事業の一環として設置された稚蚕共同飼育所（中野）は、この春蚕期から飼育が始まり、例年より、四、五日遅れの五月二十八日に掃立され、四百箱のうち約八〇%の三百十箱が当所で、近代的な設備（温度調整は電気で全自動）を利用して飼育されました。

蚕業中堅青年研究会の会員が交代の泊り込で飼育にあたり、六日には村内各養蚕家に配蚕されました。この稚蚕が正常に生育しますと本月の下旬には、村内に九百万円以上の繭代金が入ることになります。

写真は一箱数万匹の稚蚕の成育状況を見守る中井技師



上半期のしめくくりの日

家計簿の整理

六月は一年の半分を過ぎる月なので、この辺で生活全般の反省をする、いわば決算月ともいえます。家計簿のほうは、諸物価の上昇でこわいようなこのごろですが、これをしっかり見きわめてこれからの下半期の計画の参考にしたいものです

サラリーマンにはうれしい賞与の月です。この賞与ぐらいサラリーマンの哀歓を表わすものはありませんが、うつかりしていると、何に使ったかわからないうちに消えうせるものです。一つに中心をおいて、日ごろの手の出ない品物なり、場合によっては家族旅行なりに重点的に利用したいものです。

農家でも最近は生活の合理化運動が普及してきていると思いますが、この月はぜひ上半期の決算をすませておきたいものです。ちょうど農繁期に当つて、家計簿や経営ノートをつけるのはずいぶんおっくうにちがいありませんが、むしろ出費の多かつた上半期のしめくくりができた秋での結課を見るのに欠かせない重要な要素となつてくるのです

梅酒のつくりかた

なるべくつぶのそろった傷のないよくしまつた青梅をえらびます。よく水洗いをしてから十分水を切っておきます。

次に梅一、五キロに対し焼酎一、八リットル、氷砂糖一、二キロ～一、六キロ

また必ずしも氷砂糖でなくとも、白砂糖あるいは白ザラメでもよろしいわけです。焼酎は二十五度と三十五度がありますが梅酒には三十五度がよいようです。

なお、少しうれた梅は、焼酎をいれずに、同量の砂糖をまぶすようにしておくと、二週間ぐらいで、梅がはつこうして水分がでてきます。この水をしぼつておくとおいしい梅シロップとなります。一度ためしてみてください。

の割合いで広口ビンに入れて密閉しておけばよいわけです。二か月もするとおいしくいただけます。

この場合、かなり甘味が強くなりますので、氷砂糖一キロにすることもそれぞれのお好みでよいでしょう

告知版

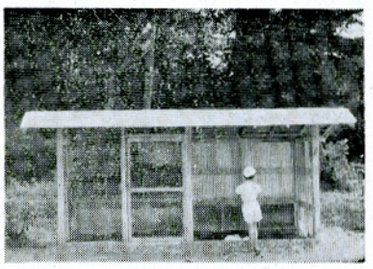
交通安全の表彰

毎日のように起る交通事故から児童を守ろうと村内各校では安全隊を組織して登下校の事故防止に努めていますが日頃の活動が認められた鮫小にこのほど棚倉警察署長と郡交通安全協会長から、表彰状と金一封が贈られました。

立派な飼育舎

鮫小校庭の東側に児童の動物愛護の精神を養なおうと、鶏と兎を飼育する小屋(写真)が完成しました。

(鮫小PTA新聞より)



手洗いに注意

小学校の給食のときや用便後の手洗いのあと、ハンカチや手ぬぐいを持たぬため服でふいている子どもがみられ、水道の前は水だらけです。必らずハンカチか手ぬぐいを持たして下さい。

(西野小学校だより)

鈴木さん再選

森林組合では先に総会で役員(五月号掲載)を選びましたが、このほど役員会を開き組合長……鈴木市夫(中野)副組合長……岡部伝(富田)代長監事……須藤栄恭(西野)の各氏を互選しました。

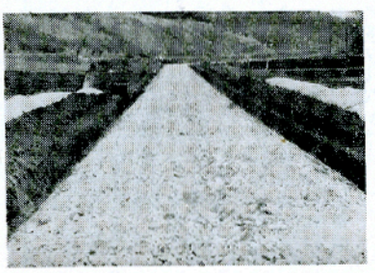
郡P連会長に大楽氏

五月二十六日に棚倉小学校で開かれた総会で本村の鮫中のPTA会長、大楽勝男氏が選ばれました。本村で郡の会長に就任したのは初めです。

辺地に開拓道路

青生野井堀地内より南東に塙町境に至る延長二千米、巾三米のデラックスな道路(写真)が、四百三十二万六千円(うち補助三、五一四千円)の工費で、昨年十月より塙町菊地組の請負で工事が進められていましたが、このほど手直し工事を終り開通しました

(産業課)



公民館運審の会長

五月二十七日に開かれた運営審議会で委員の互選により会長に大楽勝男、副会長に安藤祐夫の両氏を選びました。

珍しい行事

正月神事

渡瀬区では、田殖終了後に部落と区で毎年一日か二日の休みをとっています。

この日には、シメナワをかざった松を部落では組長さん、区全体で休むときは区長さんの家にたて、午前八時から、いっさいの仕事をやめて休みます。休日は年によって違いますが、歳徳大神の紙に休む日を書き入れて、松かざりといっしょにかざり当日は早苗ぶりも行ないます。

(渡瀬、区長)

古くから残っている行事が新生活運動などで失なわれつつありますが、記録に残しておきたいと思いますので、皆さん方の部落や大字で行なわれてきた行事(現在は実施されていない行事でも結構です)について、内容を編集部(公民館内)までお知らせ下さい。

日曜日の配達の休止!!



鮫川郵便局提供

このたび郵政省では、日曜日の郵便配達を休止することについて、かねてから討議しておりましたが、このたび福島、神田、帯広、須坂、石動津、八幡浜、呉、門司、大阪南の十局を対象にして、五月三十日から当分の間、日曜日の配達を休止させていただくことに致しました。

そのため、休止した郵便物は月曜日午前中に完全に配達する事と、いたしておりますので、利用者の皆様には、右御承知の上、なにとぞご協力をお願い致します。尚速達郵便物は、従来通り、日曜日といえども配達致します。

郵便規則の一部改正

六月一日から!!

㈠ビニール封筒などの使用禁止

ビニール樹脂およびポリエチレン樹脂等合成樹脂を主な材料とした封筒および袋は郵便切手や取扱上必要な符せんが、はりつけられないとか、通信日付印が押せなかったり又取扱中に「マサツ」によって静電気が生じたり、いろいろ障害があるので禁止されました。

㈡速達は朱線の表示に統一

従来は「速達」と朱記するか、または表面の右上部に朱色の横線を表示しなければならないことになっていましたが、速達の表示をやめて朱色の横線のみを表示することにしました。

㈢書留小包郵便物の差出し方法

書留小包郵便物を差し出す時には、郵便局の窓口に備え付けてある小包郵便物書留票に差出人および、受取人の住所氏名を記入の上、これを郵便物に添えて窓口に差出してもらうことになりました。

◉つゆ時の郵便利用にご注意を◉

「つゆどきのあて名は」つゆどきは、湿気や雨で郵便物がぬれてあて名が、にじみ読みにくくなって、不着などの原因にもなっています。

郵便物のあて名は、はっきりと正確にお書き下さい。特に、つゆどきのあて名は鉛筆や、ボールペンはさけてください。

夏のボーナスは「貯蓄型」

うれしい夏のボーナス、それは財産づくりのチャンスです。

せめて半分は貯金に、そして貯金なら安全、確実、な郵便局の定額貯金をおすすめいたします。

簡易保険診療車による

巡回診療が実施されます。

仙台簡易保険診療所からの巡回診療が、来る六月二十三日鮫川村公民館で実施することになりました。一行は医師一名外五名からなり、健康診断は無料で、普通の投薬注射のみの場合は、ほとんど料金はかかりません。

おめでた

五月

六日　戸草　本郷フミ子

一六日　蕨平　鈴木　文子

二〇日　頭割　生田目公二

二五日　青生野　鈴木ミキ子

おくやみ

五月

三日　大塩　岡部　ハル74

一八日　福原　芳賀　イ子80

▶今月の納税◀

保険税第2期分です

納期限……6月25日

おくれず忘れず納期内に納め下さい。

鮫小よ、ガンバラレヨ

スカッとした緑色のジャンパーに目をみはる。この日この姿こそ昭和三十九、四十年度の二ケ年にわたる県教育委員会指定による体育研究中間発表会の五月二十五日の鮫川小の職員の姿である。どの人にも誇りあり。どの先生にも自信の色が伺われる。マット運動あり。鉄棒運動あり。陸上競技あり。どの子もうまい。問題としてかかげられた「グループ(集団)学習の指導のあり方」についても工夫されている。なるほどと思うこうしたことを集って来られた五十人の郡内の教職員のみが認めてそれでよいのだろうか?とふと考える。それはそれなりに専門的立場から研究されてよいが、鮫川小のPTAの方方がみられたら何と考えられるであろうか。「ウーム、体育の勉強は昔とちがつとるワイ」と必らず言われるにちがいない。それほど子どもたちの頭で考える体育の学習、子どもたち同志で助け合う体育の学習がなされていることに目をみはることであろうと思われる。学校でこんな行事をやる時には鮫川小のPTAの物心両親の御協力がどれほど力あってかと改めて感謝すると共に、子どもの学習の真の姿に拍手をそそいでいく日が近いと思う。

やがて十月二十五日は県下にその名を輝やかす発表の日である。それまで鮫川小の職員は森田校長先生を中心として、中野体育主任以下全職員が血の出るような研究を重ねることであろう。県下の鮫川小になることは県下に教育村鮫川を紹介することになる。私どもは、仲間として、はらから、その日の光り輝く日をねがうものである。

友だち　西野小教職員

PTA会員　一同

あとがき

今朝のテレビを見ていると異常低温で生育が遅れたため霜の被害を受けなかつた果樹が近年にない豊作が予想されると報じていました。稲作を初めとして豊作物が軒並に不作を予想されているときに明るいニュースではあるが、果樹地帯でない本村ではあまり関係がないようです。不順天候がもたらしたこの異変、世の中は皮肉にできています。

(鈴木)